

やさかだより1 No. 113

八坂地域づくり協議会

<https://www.shinshu-yasaka.com>

2026年(令和8年)1月1日



1月号の記事

新年のあいさつ

協議会長・八坂支所長

協議会、地域の活動から

コミュニティ・スクール

山留の風/たけのこ保育園

産業建設係から

…P2

…P3～P4

…P5

…P6

…P7

八坂公民館

文化祭/秋まつり

タイムカプセル開封式…P11

話題の八坂人

…P8

…P9～10

…P12

10月25日(土)八坂秋まつりに合わせてタイムカプセル開封式を行いました。20年振りのクラスメートや恩師との懐かしい再会の場面もあり感動しました。

八坂地区の人口:664人(男 339人・女325人) 八坂地区の世帯: 342 世帯 (令和7年12月1日現在)

新年のあいさつ



ハ坂地域づくり協議
会長 竹本 明信

新年あけましておめでとうございます。年頭に当たり新年のご挨拶を申し上げます。

日頃は、当協議会の事業につきましてご支援ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

昨年は、4月に県北部を震源とする地震が発生しハ坂地区でも震度5を観測し、その影響で住宅の屋根瓦が落ちたり、道路の石垣が崩れる等の被害がありました。また、藤尾覚音寺の重要文化財木造持国天立像も一部破損する被害になりました。幸いにも人的な被害がなく、安堵したところです。今後も地震や大雨等による自然災害の心配もあることから、万が一に備え防災訓練等の必要性を改めて強く感じたところです。

協議会関係の主な事業では、ハ坂ビューポイント整備の活動も春には、ハ坂商工俱楽部との共同により継続して相川、大曲の県道沿いの花植えを行い、夏にはハ坂ボランティア隊皆さんに応援いただく中で、唐花見温泉遊歩道の塗装等整備を行うことができました。

地域間交流事業であります

「ハ坂秋まつり」では、青竜太鼓の演奏やお楽しみ抽選会、打ち上げ花火なども行い、大勢の皆様がそれぞれに楽しみ、交流を深めることができました。

また、昨年は合併20年ということで、平成17年11月に行われたハ坂村閉村記念式典時にハ坂支所敷地内に埋設した、タイムカプセルの開封式を行いました。

このタイムカプセルには、当時の保育園児、小中学生や、地域住民の方々が将来に向けての思いを入れられており、参加された皆様は、当時の懐かしい思い出等に話が弾み、思い出深いひと時になったことと思います。今後とも、協議会関係等の事業に対しまして積極的にご参加ご協力ををお願いいたします。

新年あけましておめでとうございます。年頭にあたり、新年のご挨拶を申し上げます。

日頃は、市が実施する様々な事業の推進にご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

また、地域行事や防災活動、環境美化や道路愛護事業など積極的な取り組みをいただき、心より感謝申し上げます。

さて、昨年4月の着任から早いもので10か月過ぎようとしております。振り返ってみると、昨年4月18日、市内において最大震度5弱を観測した大町北部を震源とした地震では、人的被害はなかったものの、住宅等の屋根瓦の落下や外壁の破損、石垣の崩落や墓石等の転倒などのほか、国の重要文化財であるハ坂藤尾地区、覚音寺の木造持国天立像の破損が確認されました。

ハ坂地区でも過疎化、少子高齢化が進み、自治会活動の停滞が心配される状況もありますが、今後とも地域の皆様が安心して住み続けられるよう取り組んでまいります。

本年が皆様にとりまして、良い年となりますようご祈念申し上げ新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のあいさつ



ハ坂支所長
傳刀 瑞

参加、食料、水などの備蓄品のほか、力セットコンロ等による熱源の確保に加え、携帯トイレスの準備を行うなど

万全な態勢を整えるとともに、災害に強い地域・集落づくりに磨きをかけていくことが重要と考えております。

また、昨年6月には、クマによる痛まれる事態となりました。改めまして、被害に遭われたご遺族の皆様に對しましてお悔やみ申し上げますとともに、被害に遭われた方にお見舞い申しあげます。

クマによる被害は、全国各地でも深刻な問題となつており昨年2025年の今年の漢字では、「熊」となったほどでもありました。クマ対策にまつては、関係部署の更なる連携や体制整備、また、様々な予防策が必要であると強く感じています。

本年も、微力ではございますが、皆様と協働しながら、安心して住み続けられる地域づくりに取り組んでまいります。

結びに、ハ坂地域の皆様にどうしまして、本年がより良き年となりますようご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

地域づくり協議会の活動から

期日	区分	内容等
10/31	市長要望	・正副会長、事務局
11/11	やさかだより編集会議	・令和8年1月号記事の内容について
11/14	八坂太陽光発電施設合同現地踏査	・城南エナジー・藤巻建設

月 14 日は協議会の役員の皆様と八坂地区太陽光発電施設の現地踏査を行いました。担当部署の方たちから説明を受けました。また 11 月 14 日は市役所にて牛越市長へ要望書を提出し、市長と担当部署の方たちから説明を受けました。また 10 月 30 日竹本会長、塚田副会長と事務局で大

11/14 八坂太陽光電施設現地踏査



10/31 市長要望

11月19日（水）山手・川手体操教室交流会を開催しました



11月19日水(水) 山手・川手体操教室交流会を開催しました。池田展望美術館で美術観賞を行い昼食を楽しんだ後、帰路につきました。参加された皆様は数年ぶりにお会いする方もあり、楽しんだけたようです。

切久保自治振興会～ふれあい学級

12月14日(日)は切久保公民館で盛りだくさんの行事。まずはお正月飾りを作りでと「わら細工」から始まります。子供たちは熟練の先生たちから丁寧に指導を受け、真剣な面持ちで製作に没頭しています。大人たちに目を向けると「あれどうだっけ?」といった声があちらこちらで聞こえます。毎年実施していくが前回から1年も経過すると憶もありまいになつてしまふですね。その後は「避難訓練」を普段から始めて実施。消火器の扱いや119番への模擬通報、家庭内の常日頃からの避難の心構えや準備など、普段の生活の中では忘れがちなことでありますが、こういった機会があると改めて必要なことだと思わせてくれます。

最後はハ坂についての学習会。日本列島の生き立ちから始まる壮大な自然誌の中でハ坂の成り立ちでクターの画面で詳しく知ることができました。さらにおまけで昔懐中で織りなすハ坂の歴史、プロジェクトで見み着いた人々の日本史のビデオ上映。平成3年に撮られた人々の顔を見ては懐かしがつたり若かつたり。いきなり34年前、タイムスリップ!

立花康一
切久保自治振興会



わら細工講習会、大掃除、慰労会～野平自治振興会



野平自治振興会は12月14日にわら細工講習会と野平生活改善センター、山村広場の大掃除を行い、その後婦人部の皆さんに用意していただいたうどんなどをいただきながらさやかな慰労会を開きました。地域の方には、日頃からラベンダー園整備等で協力していたいっていることから地域の皆さんに少しでもお返しができるならと役員の方が用意しました。慰労会が終わったら全員で大掃除を行い、きれいになつた玄関にしめ飾りを取り付けてお正月を迎える準備が整いました。



野平自治振興会
寺島長二

11月14日（金）

1年生からの年生、保護者、地域の皆さんが12のグループに分かれ、「今やつてみたいこと」「昔の行事」「これからできること」をテーマに話し合いを行いました。話し合いで、学校でのお泊まり会やキャンプファイヤー、宝探し、映画鑑賞会、親子バンドなどの特別な体験のほか、星空観察や雪遊び、山菜・キノコ採り、森林整備、スキーやスノーボード体験など、自然や地域を生かした活動のアイデアもたくさん出ました。さらに、ゴミ拾いや雪かき、地域の文化体験、地域の方との授業や音楽交流など、地域と協力した活動についての意見もありました。学校生活では、弁当の日を作ることなど、子どもたちがやりたいことのアイデアも出ました。全校の児童

・生徒、地域の皆さん、職員が一緒に、子どもたちがやりたいことをたくさん語りました。「やった」という声も聞かれました。今後もこうした交流を大切にし、子どもたちの学びや活動の幅を広げていきたいと思います。

コミュニティ・スクールだより

おらほの学校やさか

+八坂小中学校前期・後期



11月29日はP.T.A・公民館・学校の三者共催の「郷土ふれあい体験学習」が開催されました。今年は、6つの講座が開設され、講師の皆様の丁寧なご指導のおかげで、児童生徒、そして保護者の皆様にとっても、楽しく、充実した会になりました。ありがとうございました。（ご指導をいたしました皆様、ありがとうございました。）

郷土ふれあい体験学習
が開催されました！





第50回・收穫祭

11月15、16日に記念すべき第50回収穫祭を開催しました。収穫祭は農作物の収穫の喜びや日々の感謝を伝える場で、今年も大いに盛り上りました。

そして夜には、受け入れ先の農家さんや修園生と一緒に会食会を行いました。ここでの演目発表は修園生も交じり、とても賑やかな雰囲気でした。

2日目は、保護者が主体となつて模擬店を実施しました。学園生も調理を手伝つたり、「美味しいよー!」どうですか?」と売り子をしたりと、協力して販売を行つていきました。さらに、農家さんが主体となつて農作物の販売も行われ、旬の野菜や漬物など、ここでしか買うことことができないものばかりで、こちらも大盛況でした。

この2日間を通して、地域の方との交流がさらに深まり、濃密な時間となりました。今年も皆様のご協力のおかげで無事に収穫祭を終えることができました。ありがとうございました。



たけのこ保育園

2月4日(木)たけの保育園で毎年恒例の発表会(お楽しみ参観)が行われました。当日は多くの保護者が来園し会場には、子どもたちの元気な歌声や笑顔があふれました。子どもたちに親しみのある昔話を題材に歌や台詞、ダンスなどを交えながら楽しい世界が繰り広げられました。体いっぱい使って表現する姿に見ている保護者から自然と笑顔がひろがりました。



発表会（お楽しみ参観）と すこやか広場

専門指導員を招いて「運動遊び教室」が開かれました。子どもたちが楽しみながら転がったり、ジャンプしたり潜ったりして体を動かしています。最後に、みんなで元気いいっぱいマッヂョポーリズを披露して盛り上がりました。

指定管理者の決定について

各指定管理者からひとつこと

明日香荘、やせなみ、ふるやまと
体験館の3施設について、令和
8年度以降の指定管理者が決定
しました。

明日香荘については新たに株
式会社フードサービスシンワ様
(小海町)が指定管理者となり
ました。新たな体制を迎えるに
あたり、営業に向けた準備等で
お不便をおかけすることもある
うかと思いますが、ご理解、ご協
力いただきまますようお願いいた

やせなみ、ふるやまと体験館に
ついては現在の指定管理者が引
き続きとなり、やせなみは株式
会社ポップ様(白馬村)、ふる
さと体験館は地元団体のハ坂元
氣会様にそれぞれ決定しました。
地域の皆様には、各施設の運
営にご理解いただくとともに、
変わらぬご愛顧をいただきます
ようお願いいたします。



株式会社ポップ

みなさまにちは、引き
続き管理をさせていただく事
になりました。よろしくお願
い申し上げます。去年よりサ
ウナが復活しています。
ご利用お待ちしております。



八坂元氣会

(ふるさと体験館指定管理者)
体験館の指定管理を受けて
いるハ坂元氣会と申します。
蕎麦打ちや灰焼きおやき等、
ハ坂の食文化を伝承し広く伝
えていくことを目的としてい
るボランティア団体です。会
員募集中です。仲間になつて
一緒にそば打ちしましょ。

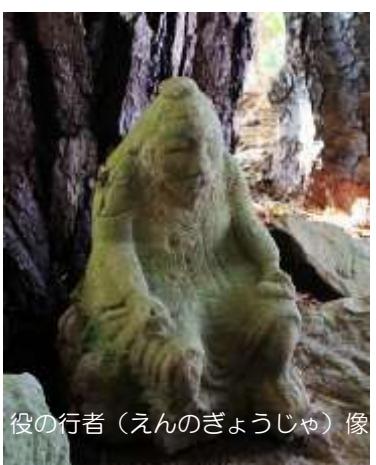


11月8日(土)大町文化財センター共催、八坂塾『文化財巡り』を行い、市内外から17名の方が参加しました。

当社は八坂公民館に集合し、険しい山々の状況、『医王谷飯綱城』と『弘法大師の石仏』等の位置をジオラマ模型で確認して、『いざ出発』。八坂トレーニングセンター駐車場まで車で移動し、そこからスタートしました。

塩沢川の上流を目指し、途中、明日香荘の源泉を見学しながら大塚ダムにて休憩。そこには「箇粥の神事」に使用する「ヨシ」のほか「カヤ」も有り、植物に詳しい地元講師(伊藤悦男さん)から相違点や特徴など詳しい説明がありました。

その後、旧桑梨集落にて休憩をとり、伊藤さんから村史の伝説にもある『医王谷』の伝説について説明を受け、その後、『弘法大師の石仏』に到着し昼食を取り、本日の最大目的地の『医王谷飯綱城』跡に到着、文化財センター所長(勝野実さん)から、この城跡は確かに工法で人工的に作られており、そのため城跡後は、神社として活用されたのではないかとの話があり、伊藤さんからは箇粥の神事の説明がありました。



文化財センター所長
勝野実さん



かつては、各家庭で『しめ縄』をお爺さんやお父さんが普通に見えました。今では70歳代の方でさすが普通に見えます。『しめ縄』を作れる人少くなりました。各分館でも12月の行事としてわら細工講座を行ってもらいましたが、教える人もいると思いますが、清家さんを講師に依頼し、わら細工の名人の松井清家さんを講師に依頼し、3回に渡り『しめ縄作り集中講座』を開催しました。

『しめ縄作り集中講座』

体操教室 『元笑氣クラブ』



八坂公民館は、八坂支所共催で10月21日(火)午後6時30分から、毎週火曜日5回に渡りストレス解消・運動不足対策のための体操教室を実施しました。

5回の内2回は、切久保在住の福野先生のヨガ教室、3回は降旗先生にスクワットなど自宅で出来るトレーニングを教えていただきました。

参加者の中には、「筋肉痛になつた」など弱音を吐く方もいましたが、楽しい教室になつたとの声が多く聞こえました。

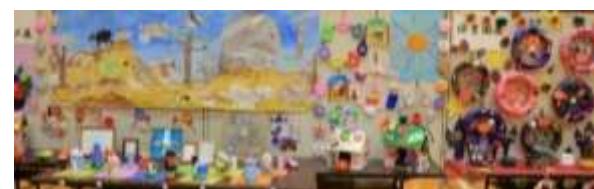
八坂地区文化祭



10月25日、26日に八坂地区文化祭が開催されました。

1日目は夕刻より八坂秋まつり、タイムカプセル開封式も併せて開催され、にぎわいました。

展示ではシニアクラブの苔玉、陶芸クラブの作品、高齢者サロン「縁が和」の木彫り他、ハ坂公民館の講座の、クラフトバンドのバッグ、竹細工など地域の方の力作と、保育園の園児やハ坂小中学校の児童、生徒さんの作品など盛りだくさんで見ごたえがありました。ご自身の作品の前でお友達に説明する場面も多く見かけました。2日目はにぎわい広場やママさん達のフリーマーケットなどもありステージの合間に見て回るのも楽しみでした。



2日目のステージ発表の日は、あいにくの雨にもかかわらず、にぎわい広場に出店された皆さんからは、『今年は参加者が多いね』との声も聞こえて早々に売り切れるお店も多くみられました。ステージ発表では、可愛いい、たけのこ保育園の園児のダンスに始まりハ坂小中学校後期課程の生徒さんの見事な合唱です、にぎわい広場に多くみられました。ステージ発表では、可





一等賞は伊藤悦子さん
おめでとうございます



バラエティショー「Mr.Dai」



おて号 せ様
め待をおて々バル
でち呼楽くなら
とまばしぬまで
うしる抽選会は
ごた。のをドキドキし
ござい
ます。



タイムカプセル
開封記念特製
クリアファイル
来場者の方にプ
レゼント

事前にハ坂支所の方に掘り出していただきました



10月25日、青竜太鼓の演奏でオーブーンングセレモニーが始まり「ハ坂秋まつり」と「タイムカプセル開封式」を開催しました。開封式は大町市有線放送の土屋さんに司会進行をお願いしました。タイムカプセルの開封には牛越市長、傳刀市議会議長、宮田一男市議、元ハ坂村助役の勝野照治さん、元ハ坂村議員小林英樹さん、当時の小学生の北澤慶太さん・泉水久乃さんに地域間交流事業実行委員会の会長竹本明信さんを入れた8名にお願いして開封を行いました。

開封後はタイムカプセルの中身を地域別、学年別に机に並べ皆さんにご自身のお手紙を手にとつていただきました。懐かしい再会にお話は尽きなかつたようでした。

開封後はタイムカプセルが、ひとまず集合写真を撮つて開封式を終えました。その後はハ坂秋まつりを楽しんでいただけきました。



きらり話題の八坂人

曾根原千穂さんが八坂警察官駐在所勤務者協力家族表彰を受賞されました

多年にわたって駐在所に勤務している警察官と同居し、警察業務に協力援助している家族に対して本部長感謝状を贈呈

11月10日大町警察署大町八坂警察官駐在所勤務者協力家族として曾根原千穂さんが表彰されました。



体操教室「元笑気クラブ」のひとこま

似通つておりとても懐かしくほつとする「ハ坂」は自然が豊かで素晴らしいところですがそれよりも人が暖かい、フレンドリーですぐに受け入れていただける。できれば長く住んでいたい」とおっしゃっていました。千穂さんはハ坂公民館の苔玉やクラフトバンド講座などで地域の方とも顔なじみになり、体操教室「元笑気クラブ」では「夫婦でご参加いただいています。これからもお二人で暖かくハ坂地域を見守っていただけようお願いします。

特に2025年はクマの出没にハ坂全体が揺れました。山中の我が家では、3歳の娘が「パパ、クマに勝てる?」と日々質問攻め。「犬でも負ける」と即答する頼りない父を、娘は外作業中の私に「クマ出るから帰ってきてやう!」と叫ぶ娘の頭には、なんと可愛い「クマ耳付きフード」が……。「お前は小グマか!」と、張り詰めた緊張感も一瞬で和らきました。

「大阪から長野へ移住して早く7年。子どもたちは素晴らしい友人と環境に恵まれ、情緒豊かに育っています。しかし、ここには都会では想像もつかない「自然の洗礼」も待ち受けていました。特に2025年はクマの出没にハ坂全体が揺れました。山中の我が家では、3歳の娘が「パパ、クマに勝てる?」と日々質問攻め。「犬でも負ける」と即答する頼りない父を、娘は外作業中の私に「クマ出るから帰ってきてやう!」と叫ぶ娘の頭には、なんと可愛い「クマ耳付きフード」が……。「お前は小グマか!」と、張り詰めた緊張感も一瞬で和らきました。

舟場自治振興会

佐藤裕紀
編集委員

編集後記